

（11 月）風の息



テニスをやっているとき、風が常に微妙に変化をしていることを経験する。息をするように不規則に変化することから「風の息」という。風とは空気の動きを表していて、刻々と変わる「気圧（空気の重さが地面を押す力）」や「気温」の変化、「地形」などの影響で向きや強さが変化する。この絶え間なく変化する風の強弱の中には、突風と言われる継続時間が短く、強く吹く風がある。最大瞬間風速とも言い、平均風速の 1.5～3 倍程度の強い風となる。強風による被害は、この瞬間風速で発生する。

テニスは風の影響を受けることが多い。体感や木々の枝葉から風の向きや強さを読み、上手く付き合いたい。

（備考）風を利用した戦術

「向かい風」ネットより高い弾道で強い球を打つ。アングルショットやドロップショットが有効。ロブを打たせるように仕向け、ミスを誘う。「追い風」ストロークはスピンをかけボールをコートに収める。スライスショットでボールの変化を利用する。スピンサーブは伸びて効果的。（鈴木 徹）